人文學報

XCVIII

京都大學
人文科學研究所

2009

人　文　学　報

第98号

京都大学人文科学研究所

2009年12月

目　　次

植民地期インド・オリッサにおける社会変容 …… 田辺明生 1
——歴史人類学的検討——

身体技法の習得と身体の抵抗 …… 倉島哲 81
——マンチェスターの太極拳を事例として——

敗戦前後の佐々木惣一 …… 松尾尊兊 117
——近衛文麿との関係を中心に——

近代山王祭りの原点 …… ジョン・ブリーン 143
——官幣大社日吉神社史の一齣——

「野生」の観念とその両義性 …… 片岡大右 177
——モンテーニュからシャトーブリアンまで——

多数性としてのゲスト …… 山本達也 205
——北インド・ダラムサラを事例に——

精霊憑依のコミュニティ …… 福浦一男 229
——北タイ，チェンマイの基柱の守護精霊を崇拝する
霊媒集団とその宗教実践——

女神にひかれる男たち …… 河西瑛里子 269
——現代の欧米の新しい宗教的実践におけるジェンダーについて——

1920年代京都における都市計画展覧会の歴史的意義 …… 秋元せき 297
——都市計画にみる歴史意識——

書　評

近代京都研究 …… 中嶋節子 327

フェティシズム研究第1巻　フェティシズム論の系譜と展望 …… 小川さやか 335

現代モンゴル遊牧民の民族誌 …… 佐川徹 341
——ポスト社会主義を生きる——

『人文学報』投稿規定

1．『人文学報』は、年に原則二回刊行される学術誌で，人文科学に関する関連領域の論文，研究動向，資料紹介，書評・書評論文，講演会記録などを掲載する。
2．『人文学報』には，所内研究者，共同研究班班員，所内の客員（国内客員および外国人研究員），名誉教授，招聘外国人学者，外国人共同研究者，研修員，受け入れ学術振興会特別研究員が投稿できる。これ以外にまた，編集委員会が適切と判断して投稿を依頼する場合がある。
3．本誌の論文等は原則査読の対象となる。原稿は，査読を経た後，編集委員会の責任において採否を決定する。
4．投稿料は支払われない。但し，論文，書評論文執筆者には本誌1部が無料で提供される。また抜き刷り50部が無料で提供される。
5．著者校正は2回とする。
6．投稿締め切りは，毎年9月末日と12月末日とする。原稿は，「『人文学報』編集委員会」宛てに送付することとする。
7．原稿作成にあたっては，「『人文学報』執筆要領」に従うこととする。
8．他雑誌への二重投稿についてはこれを禁じる。
9．『人文学報』に掲載された論文等について，その著者は複製権（電子化する権利）と公衆送信権（公開する権利）にかんする許諾を人文科学研究所に与えたものとする。人文科学研究所は公開の便をはかるために，京都大学が設置したサーバから掲載論文等を画像あるいはPDFなどの形式で送信することができる。

『人文学報』執筆要領

1．使用言語は原則日本語とする。以下は日本語論文を想定した要領である。
2．論文には，日本語（800字程度）と欧文（200語程度）の要旨を添付する。日本語のキーワードを5点記す。
3．投稿原稿は枚数をとくに制限しないが，論文については本文12,000～48,000字を目安とする。書評・書評論文については4,000～8,000字を目安とする。
4．原稿の表紙に，論文，研究動向，資料紹介，書評，書評論文などの区別を明記する。ただし，この点に関する最終判断は編集委員会が行う。
5．原稿は，ソフト名を明記し，デジタルファイルとそのハードコピーを提出する。
6．原稿は，A4サイズとする。
7．図表，写真などには，それぞれ通し番号と表題を付ける。それぞれの挿入場所を，本文の右側欄外に番号で指定する（手書きでよい）。
8．引用文献・参照文献などの形式は各専門分野の慣行に従うこととし，とくに規定しない。
9．注は後注とし，注には通し番号をつけ，本文とは頁を改めて作成する。本文中の注は，字肩に上付きで，1），2）などと記す。また，右側欄外に注番号を記しておく（手書きでよい）。
10．書評，書評論文，新刊紹介などの場合には，別紙に，著者名（フルネーム），書名（副題，シリーズ名，巻数なども含めて），刊行地，出版社，ページ数，定価などを記す。
11．他の言語で既に発表したものと内容が重なる場合は，その旨明記する。

編集委員

田　中　雅　一
岩　城　卓　二
伊　藤　順　二
高　階　絵里加

人文学報　第98号

（京都大学人文科学研究所紀要　第163冊）

2009年12月25日　印刷
2009年12月30日　発行

非　売　品

発行所　京都大学人文科学研究所
京都市左京区吉田本町

印刷所　明文舎印刷株式会社
印刷者　中村　仁
京都市南区吉祥院池ノ内町10

THE ZINBUN GAKUHŌ

JOURNAL OF HUMANITIES

Vol. 98

DECENBER 2009

CONTENTS

Transformation of Local Society under Colonialism in Orissa, India:
A Perspective of Historical Anthropology ..... A. Tanabe

Acquisition of Body Techniques and Corporal Resistance:
A Case Study of a Tai Chi Class in Manchester ..... A. Kurashima

Sasaki Sōichi in his Postwar Years:
In the Context of his Relations with Konoe Fumimaro ..... T. Matsuo

The origins of the Sanno Festival:
On the Modern History of the Great State Shrine Hie. ..... J. Breen

Idea of Savage and Its Ambiguities: From Montaigne to Chateaubriand .....D. Kataoka

Guests as Multiplicity/Hybridity:
The Case Study in Dharamsala, North India .....T. Yamamoto

The Community of Spirit Possession: Religious Practices of a Grouping of
Spirit Mediums that Worships the Tutelary Spirit of City Pillar in
Chiang Mai, Northern Thailand .....K. Fukuura

Men who are attracted by Goddess-Gender issues within the new religious practices
in the West .....E. Kawanishi

Historical meaning of Kyoto City Planning Exhibition held in 1920 s:
Historical Consciousness in City Planning .....S. Akimoto

Book Reviews

MARUYAMA Hiroshi, IYORI Tsutomu, TAKAGI Hiroshi (eds.).
Modern Kyoto Studies .....S. Nakajima

TANAKA Masakazu (ed.). *Fetishism Studies 1 Genealogy and*
prospect of Fetishism Theories .....S. Ogawa

KAZATO Mari. *An Ethnography of Pastoral Nomads in Modern Mongol:*
Living in the age of Postsocialism .....T. Sagawa

Published

by

THE INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES

KYOTO UNIVERSITY

ISSN 0449-0274